

市内保育所・園、幼稚園、小中学校の保護者の皆様 地域の皆様へ
教育センターだより【6号】

令和元年6月19日発行



518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp

minakuru01@nabari-mie.ed.jp

ホームページ <http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>

適応指導教室（さくら教室）2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0696-63-7830

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

教育講演会のご案内

教えること、育てること、そして、愛すること
～教師として生きる「覚悟」を問う～

【講師】平松 義樹 愛媛大学名誉教授

日時 8月9日(金)14:00～16:00

場所 アドバンスコープADSホール

平松先生は、理論と実践をつなぐ大学名誉教授として、学校・行政・大学のコーディネーターをしています。新聞のコラム連載や多くの著書では、夢のあるたくましい教育メッセージを伝えていきます。

- ◆参加費・申し込みは不要です。
- ◆駐車はイベント広場へお願いします。駐車台数に限りがありますので、できる限り乗り合わせでお越しください。
- ◆アンケート記入のため、筆記用具をご用意ください。

「なばり学」を

三重県内教育研究所
連絡協議会で

発表しました！



5月15日（水）、県総合教育センターで行われた三重県内教育研究所連絡協議会の研修会において、名張市教育センターは「ふるさと学習『なばり学』の中学校における活用法」を中心に「なばり学」の発表をしました。発表者は西口佳伸元研修員で、「名張市子ども教育ビジョン」からの繋がりからふるさと学習「なばり学」の創設に始まり、具体的な実践や取組内容を報告しました。

名張市の産業や伝統的行事などを紹介し、その授業例も具体的に説明していると、多くの人が配付された「なばり学上巻・下巻」にも興味を示しながら聞き入ってくれていました。今後は更に学校の中でこれらの内容や教科書が扱われることとなります。これからも生まれ育った故郷に愛着を持ち、故郷について語れる子どもの育成と名張市の発展に少しでも貢献していく重要なものとなると考えています。

ぜひご家庭などでも、「なばり学」に関わる授業や活動内容を話題にいただければ幸いです。



ボランティア 出前サロン

学校支援地域本部事業

ボランティア・サロンは、学校生活支援ボランティアの皆さんが情報や思いを交流する場です。昨年度のサロンでも、今後の活動に役立つ有意義な交流をしていただくことができました。本年度は、より集まっていただきやすいように、各中学校区へ直接訪問して行う「出前サロン」によって情報交流していきたいと思っています。校区や地域を問いませんので、お気軽にお越しいただければと思います。

原則：毎月第1木曜日
14:00～15:30

7月 4日(木)	梅が丘小学校 会議室
8月 1日(木)	桔梗が丘南小学校 校長室
9月 5日(木)	南中学校 会議室
10月 3日(木)	箕曲小学校 図書室
11月 7日(木)	すずらん台小学校 図書室
12月 5日(木)	名張小学校 会議室
1月 9日(木)	美旗小学校 図書室
2月 6日(木)	箕曲小学校 図書室
3月 5日(木)	蔵持小学校 図書室

子育て支援研修会

5月28日(火)は「子育て支援研修会」の第1回が行われました。この研修講座は、特別支援教育士の新山君代先生による「育てにくさを感じる子どもの理解と対応」をテーマとした全5回で実施される講座です。初回のサブテーマは「ちょっとした工夫で困ったことがうまいく」でした。「できない」と決めつけるのではなく、できるようにするための工夫があることや、「してはだめ」と禁止用語を用いるよりも「しましょう」と促す声かけを多用することなどのお話や、具体的なグッズも紹介していただき、効果的な支援の工夫を覚えて下さいました。参加された方から日頃の疑問などを質問する場面もあり、大変有意義な研修講座となりました。



書籍・DVD等の貸し出し

教育センターでは、学校教育・家庭教育に関わる情報資料の提供を行っています。

★図書資料室・事務室前の
書籍・DVD等の貸し出し



事務室の貸し出し簿に記入
(貸し出し期間は2週間)

現在使用中の教科書や、過去の教科書・他社の教科書も閲覧できます。ぜひご活用ください！

図書館ボランティア研修講座・子ども読書活動推進研修講座

テーマ

「実践おはなし講座 一子どもたちにお話をー」

第1回 「子どもたちに語いを」

9月19日(木) 10:00～12:00

第2回 「子どもたちに絵本を」

10月24日(木) 10:00～12:00

第3回 「やってみようおはなし会」

11月28日(木) 10:00～12:00

場所(第1～3回全て): 教育センター 大研修室



講師: 村上 郁さん

京田辺市立図書館おはなしサークルがらがらどん主宰

京田辺市立図書館おはなしサークルババヤガー講師

週末教育事業

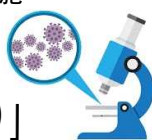
— 4月27日(土) 実施 —

わくわく、いきいき

「顕微鏡で、ミクロの世界を見てみよう」

10連休の初日、市内13名の小学生が週末教育事業に参加し、顕微鏡の使い方と、驚きや発見の世界に触れる体験をしました。

今回はKids サポータークラブの中学生と高校生が8名、大人のボランティアの方も2名が補助にあたってくれたこともあり、一層充実した活動となりました。それぞれの子どもたちが自分の見てみたいものを持ち寄り、楽しみながらも真剣な様子で取り組んでいました。つくしの胞子やタンポポの綿毛などの植物から水中の微生物(ゾウリムシやミジンコなど)までいろいろな物を顕微鏡で意欲的に観察しました。



5月の草刈り終了

5月8日(水)、ボランティア室が中心となりセンター職員で3時間かけて空き地(駐車場)の草刈りを行いました。この日は風もなく晴天に恵まれたこともあり、気持ちよく作業をすることができました。会議や研修講座などで車の台数が多い時には、この土地を使っていただけます。ぜひ気持ちよくご利用いただけるようにと頑張りました。7月と10月にも予定しています。



ぜひカラーで
空の青さと緑の美しさを見ていただきたいです。

週末教育事業

— 5月25日(土) 実施 —

「ラップの芯で万華鏡を作ろう」

準備物をそろえて

5月の週末教育事業は、ラップの芯と乳酸飲料の空き容器を利用して、万華鏡を作りました。午前の部20名、午後の部13名の小学生が参加し、持参したラップの芯と、容器・鏡・ビーズなどを組み合わせ、約2時間かけて万華鏡を作りました。

用意されたビーズやスパンコールを自由に選び、苦心の末に完成した自作の万華鏡を覗くと、思っていた以上の美しさで歓喜の音が響き渡りました。実際に作ってみることで、どうしてそのような見え方をするのか、1枚1枚の鏡の角度やその働きについて改めて学びきっかけともなったのではないかと思います。ご家庭でもぜひチャレンジしてみたいと思います。



見えた！

Here Comes the Beetles !

第1号で掲載したオオサンショウウオのオレンジちゃんの隣に、カブトムシとスマトラヒラタクワガタ、オオクワガタ、ギラファノコギリクワガタが加わりました。オオクワガタはすでに成虫ですが、他はまだ幼虫からさなぎへと成長している途中です。カブトムシは6月末から7月上旬にかけて成虫へととなります。特に、カブトムシは特殊なケースに入っており、幼虫からさなぎ、成虫になるときに作る“部屋”の様子が見やすくなっています。スマトラヒラタは体も大きく、気も強いようです。ギラファノコギリは、長い大顎が特徴的です。成虫になるのが楽しみです。教育センターへお越しの際は、ぜひ成長の様子をご覧ください。



ギラファノコ

